



平成26年10月14日

開智幼稚園便り 臨時号

京都市立開智幼稚園
園長 小寺 幸司

平成26年度前期学校評価集計結果について

体育の日に台風がやってきました。今年ほど行事のたびに天候のことが心配になることはなかったように思います。運動会も無事予定通りにできて本当によかったです。

さて、先日実施しました学校評価アンケート集計結果をお知らせします。今回の回答率83%は昨年度より低くなったのが少し残念でした。しかし、保育については高い評価をいただき、とても励みになります。

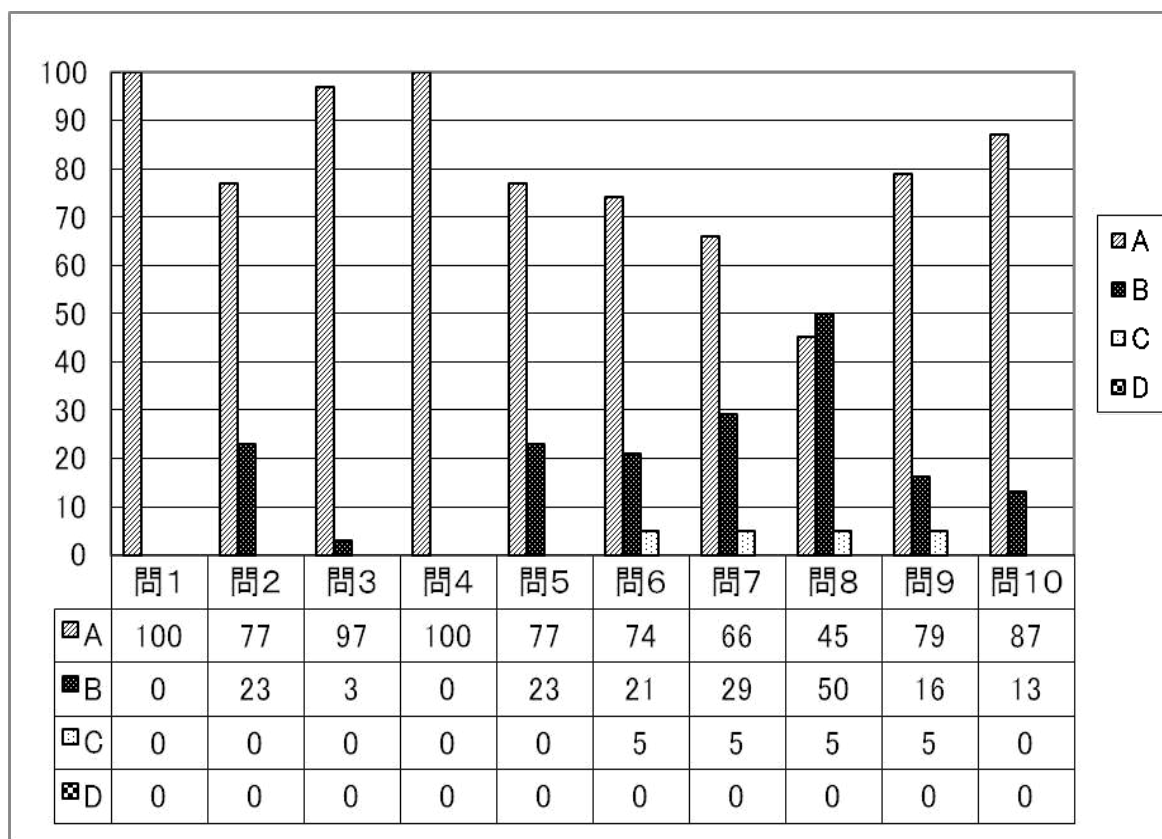
● 保育の充実

問1から問5に関しては高く評価していただいています。保育を充実させて子ども達を伸ばしていくことができていると私達も感じています。地道に保育研究を進めてきていることが子ども達の成長につながっています。保育の質を高めることは最も大切にしなければいけないことであると考えています。毎月のお便りで子どもの姿をお伝えしていますが、何をどのように伝えるのかということについては時間をかけて十分に検討し、話し合っています。それが、子どもに対する理解を深め、保育のあり方を見直すこと、指導力を高めることにつながっていますので、とても大切にしている時間です。今後も保護者、地域の皆さんの理解、協力を得て、子ども達のために研究を重ね、子どもの成長を共に認め、喜び合えることができる幼稚園をめざして取り組んでいきます。

● 環境に関する課題について

悩ましい課題は、蚊、猫、毛虫（イラガの幼虫）の対策です。それぞれに対策を講じていますが、正直なところ根絶することはなかなか困難なことです。蚊に対しては、発生源となっているところがないようにしていくこと、蚊取り線香などの利用をしています。樹木等の植物が多い幼稚園は蚊が生息しやすいところでもあります。子ども達にとって必要な環境が蚊にとっては好都合な環境となっているとも言えます。猫に対しては、砂場に毎日シートをかぶせて糞害にあわないようにしているのと、幼稚園の敷地内に立ち入らないようにガーデンバリアなどを利用しています。動物愛護の精神からするとちょっと心苦しいところもありますが、猫にとって幼稚園は居心地が悪いところだと学習するようにはたらきかけるようにしています。イラガは造園屋に相談して薬剤の散布に効果的な時期を選んで実施しています。薬剤散布は安全面も考慮して子ども達のいない時、数日間天候がよい日が続かないと効果的な散布ができません。いろいろ難しいところもありますが、今後もよりよい環境をめざします。

平成 26 年度 前期学校評価集計結果



A = あてはまる B = どちらかといえばあてはまる

C = どちらかといえばあてはまらない D = あてはまらない

1	教育目標『心身共に健やかでたくましく，生き生きとした子どもの育成』に向けた取組をしている。
2	一人一人を大切にした保育に取り組んでいる。
3	教職員はより良い保育を目指して努力している。
4	子ども達が楽しく，喜んで幼稚園に来ることができるように取り組んでいる。
5	あいさつができる子になるようにはたらきかけている。
6	子どもが絵本を読んだり，楽しんだりする環境が整っている。
7	事故防止に努めるとともに，健康や安全に配慮している。
8	環境美化及び施設等の改善がなされている。
9	教育方針や教育活動を，幼稚園だより・ホームページ・お知らせ・担任からの話などでわかりやすく伝えている。
10	家庭や地域との連携を大切にして教育活動を進めている。